



「女性活躍推進アンケート 2017」のご報告

2017年4月19日

一般社団法人 日本遊技関連事業協会

遊技業界の横断的組織である一般社団法人 日本遊技関連事業協会(会長 / 庄司孝輝)では、会員企業429社(正会員350社、賛助会員79社、団体会員5団体、2017年1月現在)を対象に「女性活躍推進アンケート」を実施いたしました。結果を報告書としてまとめましたのでここにご報告いたします。

回答企業34社の2015年度の従業員数は31,277人(前年比102.7%)で、そのうち女性従業員は11,538人、構成比は36.9%となり、前年の31.7%から5.2ポイント増加となりました。また各社基準の管理職者のうち女性が占める割合は、2014年度の3.9%から、2015年度は4.1%と0.2ポイント増加となりました。

新卒採用は73.5%の企業で行われており、2015年度は831人(うち女性221人)を採用しています。女性の能力活用・登用サポートを目的とした専任部署やプロジェクトなどは7社で設置され、各社方針に則った施策が実施されています。

厚生労働省によるくるみんマーク、プラチナくるみん認定は8社が取得しています。女性活躍のみならず、ダイバーシティへの取り組みも行われており、20社が短時間勤務制度を導入し、19社が半日単位の有給休暇制度を導入するなど、対策が進められています。

初の試みとなったこのアンケートは、当協会の人材育成委員会(委員長 / 前田竜哉)が2015年に主催した、「女性活躍推進フォーラム」第一回最優秀賞受賞チームの「キラめきPプロジェクト」を元に企画され、チーム全員が実行メンバーに加わり実施されました。

店舗や企業で活躍する女性たち自身が、当業界の女性活躍の実態をまとめ、情報の共有を図るとともに、遊技業界全体の活性化と女性活躍推進を大きな目的として自ら動き出したことに大きな意義を見ます。今後も継続的に実施する予定です。

以上



▲実行メンバー受賞時。左から、前田竜哉人材育成委員長。森谷文子/ニラク、沖優子/プローバ、高橋純子/千歳観光、小椋理恵/ジャパンニューアルファ。谷口久徳副会長